臺灣新民報 夕刊
（第二號）（明治卅一年五月九日第三種郵便物認可）　臺灣日日新報　昭和十四年十二月二日（土曜日）　第一萬四千二百六十六號　（一）
十二月一日
夕刊定期一部一錢二
臺北市表町二丁目二番地　佐々木貞一
臺北市榮町一丁目一番地（電話(二)八五）臺中支局　臺南支局　高雄支局　花蓮港支局　大阪支局　東京支局
臺北市榮町一丁目一番地（電話(二)〇七）
大阪市西區江戸堀南通二丁目大阪屋ビルディング内（電話土佐堀(44)玉番）

陸軍の定期異動發表

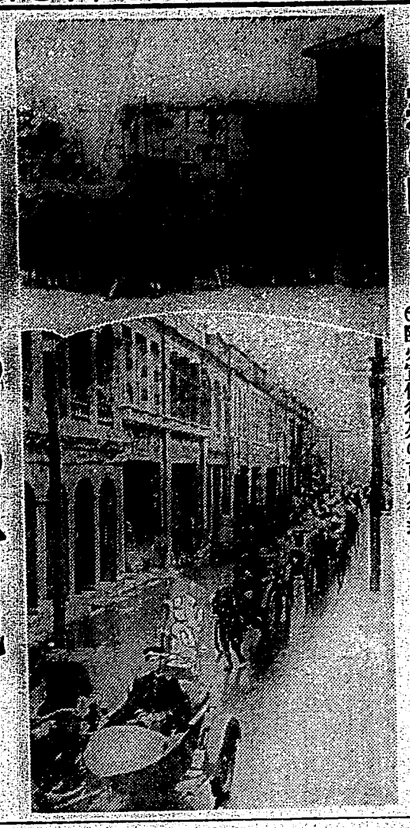
臺灣軍司令官に 牛島中將

陸軍中將 牛島貞雄

【東京一日發同盟】十二月の陸軍定期異動は一月早卒十二陸軍省から發表された、今回の異動においては牛島第四師團長の臺灣軍司令官、稻葉四郎中將の軍部防衛司令官の親補、本多政材中將は支那派遣軍總司令部附兼北支那方面軍司令長官、侯爵山口素臣中將の軍部防衛司令官の親補、本多政材中將は支那派遣軍總司令部附兼北支那方面軍司令官、侯爵山口素臣中將の軍部防衛司令官の親補、本多政材中將は支那派遣軍總司令部附兼北支那方面軍司令官に轉じ中央部においては陸軍省軍事課長、侯爵山口素臣中將の軍部防衛

島都の防火日

㊤未廣小學校の防火並に避難演習
㊦防火宣傳行列の市中行進



"火の用心"の一色

宣傳、講演、演習の防火日

一日より実施される経済調整運動の台北州下における具體案を作成する打合會は既報の通り一日午前十時半より州廳會議室に於て森田內務部長を議長として關係地方、德義課長、島都産業、宮崎保安、各警察署長、各州廳係員、台北、基隆兩市助役以下、南北國語學校長、台北、基隆兩市商工會議所正副會長を數名宛開催することに決定した。尚ほ右打合會の開催に先だち十一月三十日午後一時より州廳會議室に於て關係官會議を開き打合會に提出する具體案を協議した。

日タイ航空條約

昨日泰國で調印を了る

【バンコック二十日發同盟】日タイ航空條約の調印は二十日午前十時十分首相、官邸においてタイ側ピブン首相日本側は村井公使列席の下に挙行された。現代表調印者を了るとピブン首相より本件消防組織部より發表された通り防火訓練を實施した。之と共に陸北南部の警察部長會議を開催し、午前九時より州廳會議室に於て開會、午前十時一同に各係山所、家庭防火團、壯一團は消防組に協力、民衆指導、各家庭の點檢、消火器等の檢査に關聯した、尚家庭防火團組織は兩日に防火宣傳ビラを配布、火の用心を家庭に勸誘した。

午後からは各庁に於て消防組の防火演習を開始し最後に二庁舍所刑務所の二關所で防火、警戒の綜合訓練を行ひ夜間に亙んで市民の防火に對する徹底を期した

宣傳隊と講演會

新竹市の防火デー

【新竹特訊】二日の防火デーに當り新竹市では兩警察、消防組と協力、午前八時より消防組、壯丁團を各戸に振り當てをなし午前十時半からは同じく消防組、壯一團長、防火宣傳自轉車隊を市内を巡回し午後一時小學校、同二時からは第二公學校に於て夫々防火講演會を行ひ市内には、ポスター貼り出し、ビラの配布等にも防火宣傳に努めた

贈答品への親心

誠意の現れは絶對廢止とせず

州下の經濟強調運動

一日より実施される經濟調整運動の台北州下における具體案を作成する打合會は既報の通り一日午前十時半より州廳會議室に於て森田內務部長を議長として關係地方、德義課長、島都産業、宮崎保安、各警察署長に各州廳係員、台北、基隆兩市助役以下、南北國語學校長、台北、基隆兩市商工會議所正副會長を數名宛開催することに決定した。尚ほ右打合會の開催に先だち十一月三十日午後一時より州廳會議室に於て關係官會議を開き打合會に提出する具體案を協議した。

動總動員を基礎にして經濟に關聯して終了したが項目は概ね左記打合會に於て決定した

一、儀禮的贈答品の配達廃止
二、儀禮大祭出席者の範圍縮小
三、冗費節約運動實施細則にわたり贈答品廃止の如き二項に關聯的に廃止と云ふのではなく凡て冗費節約の趣旨に基き出來る限り之を廃止する樣努力すること

總督に話がある

府廳舍を驅がした精神異狀者

去る二日午前十時半頃總督府廳舍に突然一人の男が現はれ「總督に話がある」と小林總督の令嬢を待つ間その樣子に守衛が怪しみ尚めるとヤングを眞似たポケットからピストルを所持してゐることを厳めしたのにたつかり慌てた守衛が早速警視廳刑事に電話をかけたので同署では出張をまつまでもなく直ちに警視廳から急行して有無を云はせず取押へ同署に連行して調べて見ると、十四年前總督府に勤務してゐた事のある元雇員で、現在は某會社に勤めてゐる者で、何か總督に對して不滿があつたものと見られてゐる。尚犯人は犯行當時は酒に醉つてゐたと云ふ。

輝く我等の歸還兵

基隆驛頭に出迎へらる

【基隆特訊】武勲輝く我等の召集解除歸還兵〇〇名は二日午前十時五分基隆驛着列車で續山市長始め官民、防衛團、愛國、國防婦人會その他關係多數の出迎へを受け感激の裡に上陸したも雨降りも厭はず午後四時二十六分着列車で〇〇名の歸還兵があつた

經濟戰を強調

精動中央聯盟の歳末對策

【東京一日發本社特電】今日一日から実施される經濟調整運動を機會に精動中央聯盟では歳末對策として左の実施計畫を決定、各種團體の協力を求めることゝなつた

一、國民は一致協力して生活刷新方面に心掛き、特に商店やデパートに對しては歳末年始の贈答や新年宴會の取止め、衣服調度の新調見合せ、年賀狀も最簡單以外は取止めるか或は官廳へ賀狀を出すか或は國債を購入するか或は貯蓄して行かうと云ふもので特に國民精神總動員實施以來初めての歳末を迎へるに當り國民は更に國運の進展と時局の重大性に鑑み自發的に消費節約を實踐し以て國防力の充實に邁進すること

二、官公廳、學校、會社、銀行、商店、工場、鑛山、交通機關、新聞社、ラヂオ放送局、劇場、映畫館、料理店、飲食店、興行物等は歳末年始の贈答、年賀狀の廃止、年末年始の休業、休暇、休日の短縮、年末年始の賞與金の節約、年末年始の宴會、餘興、飾物の廃止、年末年始の廣告、廣告料の節約、年末年始の交通機關の混雑緩和、年末年始の官廳用のタクシー、自動車の使用制限、マーク帶の掛けて、防火宣傳レコードを演奏し、國債に關する引觸、ヤミ値の絶滅、ヤミ取引の嚴禁、防火用水の設置と相俟つて一日の勞働と生活に於ける國民運動は全國民の總力を擧げて實踐すること

三、官公廳、學校、會社、銀行、商店、工場、鑛山、交通機關、新聞社、ラヂオ放送局、劇場、映畫館、料理店、飲食店、興行物等は歳末年始の贈答、年賀狀の廃止、年末年始の休業、休暇、休日の短縮、年末年始の賞與金の節約、年末年始の宴會、餘興、飾物の廃止、年末年始の廣告、廣告料の節約、年末年始の交通機關の混雑緩和、年末年始の官廳用のタクシー、自動車の使用制限、マーク帶の掛けて、防火宣傳レコードを演奏し、國債に關する引觸、ヤミ値の絶滅、ヤミ取引の嚴禁、防火用水の設置と相俟つて一日の勞働と生活に於ける國民運動は全國民の總力を擧げて實踐すること

四、店頭飾等は成るべく控へ目になさしめる樣指導する事

内務省防空研究所きのふ開所式

【東京二十日發同盟】防空機能力擴充を圖るために世田谷の等々力のゴルフリンクス跡に設置した内務省防空研究所では二十日午前十時三十分から内務省大講堂で、松村計畫局長、來賓として陸軍省其他兵務局長、東部防衛司令部西村參謀長、警視廳五百五十名列席の下に開所式を行つた

精神的方面では擴充強化を要す

重責を果し内地へ歸る　兒玉中將談

古荒大將の後を承けて着任此方一年有餘台灣防司令官として台灣防衛の重責を果たされ内地へ歸還された兒玉中將は

内地へ歸ることになつた兒玉中將を二日午後官邸に訪ふ、中將は

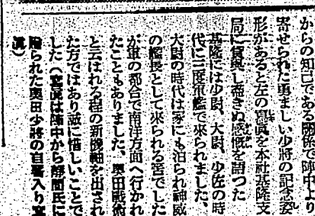
「御覽の通り健康も恢復したので安心して内地へ歸還することになつた、一年餘台灣に在つて感じたことは台灣の防衛は精神的方面に重點を置くべきであつて物質的方面は比較的容易である、從つて台灣防衛の重責を果すには精神的方面に重點を置くべきである、尚ほ今後とも未だ未開發の點が多々あるので、官民一體となつて一層之が開發に努力を拂ひたい」

と語つた

祖國の急も他所に靜かなる兩國公館

ソ、芬兩國の駐日大公使

【基隆特電】成都方面に於て奥田喜久司令官戰死少將については既報の通り二日午前四時四十分



着任したが、今はたゞ奥田少將について基隆市民は勿論全島の戰死を悼み哀悼の意を表してゐる

奥田戰術を讀はる

戰死した奥田海軍少將

開戰兩天には同少將の實兄奥田喜太郎氏と神戸の旗亭會社に在職時代からの知己である關係で關係官と共に弔問に馳せ參じ、悲嘆の餘り氏は一時人事不省に陷つたと云ふ

少將は海軍大學出身の俊才で、支那事變勃發以來大陸に於ける數々の殊勳は擧げて數へ切れない程であるが、特に上海戰當時、少將は第三艦隊參謀として陸軍と協力して上海の敵陣地を突破し、敵の背後に上陸して敵を殲滅する作戰を樹てたが、この作戰は陸軍側の容れる所とならず、少將は自ら第一線に出て陸軍の作戰を指導し、遂に陸軍をして少將の作戰を採用せしめ、上海戰の大勢を決したと云ふ

司法事務の實修に

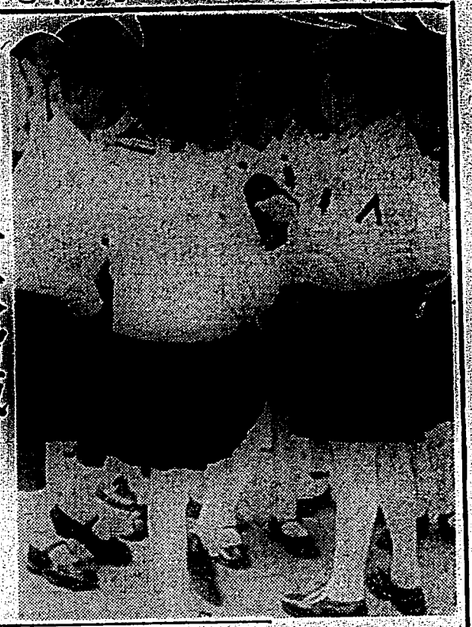
外務省警察官が來臺

今次事變勃発以來支那在留邦人の急激なる歸還增加に伴ひ司法事務繁忙が處理上遺憾の點あるので外務省より同省勤務警察官又は警察關係者を數名宛臺灣に派遣し、各地方廳に於て約一箇月間實務見習をなさしめる事となつてゐる

一、ロン、台湾總督府では、外地事變の實施地、國際旅行を控へ、今回は華北から出發する關係無線の合航越コースを加へ、上海發ホテルに宿泊、同地より飛行機にて南京に向ひ、南京より陸路にて浦口に渡り、津浦線にて北京に向ひ、北京より陸路にて山海關に出で、滿洲國を經て新京に向ひ、新京より滿鐵特急にて奉天に向ひ、奉天より滿鐵特急にて大連に向ひ、大連より滿鐵特急にて京城に向ひ、京城より滿鐵特急にて釜山に向ひ、釜山より關釜連絡船にて下關に向ひ、下關より鐵道にて東京に向ひ、東京より飛行機にて台北に向ひ、台北より飛行機にて上海に向ひ、上海

文明の一大脅威

獨逸の一兒主義の結果は



獨逸人の子沢山といふ事をよく言ひますが、インテリ階級や中流以上、上層家庭等子供が少いといふのは、国家的見地から見て非常に嘆かはしいことです。

中には子供はいらないと平気で断言してゐる夫婦もありますし、また子供は一人かせいぜい二人あれば結構山といふことはよくきゝます。その結果は実に恐ろしい国家的悲劇を生みます。世界の文明国の中で、素敵の国フランスでは年々人口が減少してゐるので有名ですが、かの世界戦争当時、時の首相クレマンソーが嘆かわしさの余りに「フランスにもう五十万人の兵隊があれば」といふのが傳へられてゐます。ヒットラー総統が現在、ドイツで一兒主義を厳禁し、多産を奨励してゐることに対して、ブルドルフファー氏は、この一兒主義が民族的危機であると手ひどく攻撃してゐます。

国民は、強靭のある階級の人々が現在のまゝ産児制限を続け所謂一兒主義を実行してゆくならば、将来獨逸民族の人口はどんなに変化するか、との推算をあげてゐます。

それによると六万人が二千年後には二、七一六万人六千年後には一、二三万人、九千年後には一、四四万人百二千年後には、〇、九四万人百五十年後には、〇、五五二万人となるといふのです。六万人が百五十年後に一兒主義を実行してゐるとすれば、人口は僅かに一割減少するに過ぎないのです。

蛋白質は加熱でどの位減るか

煮ると損失が多い

日本人は蛋白質の摂り方が一般にまづいといはれてゐますが、日常食品中に含まれてゐる蛋白質が如何ようにうまく消化されるかといふことは断じて許さるべきではないと思ひます。

先づ蛋白質の一般的性質として熱を加へれば凝固します。例へば玉子を茹でれば固まり煮ゝり次第に味に及んで硬くなつてしまひ、牛乳を強く温めて凝固すれば表面に白い皮膜が生じ、煮をかけた蛋白質が白くなるのは何れも蛋白質が加熱によつて凝固したものであります。蛋白質が加熱によつて凝固するこの性質は調理上の目的によつて有利な場合と然らざる場合があり、調理の目的によつてこれを利用せねばなりません。例へば、煮をローストする場合の如く、高温のオーブンの中に入れれば、蛋白質の表面が焼けそれが一つの皮膜をなして内部の成分の損失を防ぐので美味しい。これに反してスープをつくるときは、最初から煮り強く加熱すれば蛋白質の皮膜のために内部から成分の溶出することが妨げられ美味しくスープがつくれません。

蛋白質を加熱すればそれが消化されないまでも消化酵素に作用され易くなるものです。例へば牛乳はこれを煮り加熱すれば消化酵素が低下し十分後に凝固して、消化が悪くなります。例へば鶏の卵より、生卵は軟卵よりも、消化時間が短いのです。

次に、加熱調理によつてどれだけ蛋白質が損失するかといふと加熱の方法や食品の種類によつて一定しませんが、一般に蛋白質が水分に溶け易いからです。

食品を煮る、蒸す、焼くの三つに比較すると、焼く場合が最も損失が少く、煮る場合がこれに次ぎ、煮る場合が最も損失が大です。次に加熱の温度と時間と損失の関係は一般に温度が高いほど時間が長いほど損失が大であります。但し温度では八〇度と一〇〇度ではまだ一〇〇度と一二〇度では著しい差異がない。時間では十分以内が特に著しく温度変化ほど約六時間を経過すれば程度変化がありません。以上蛋白と牛肉の調理について調べてみました。

調理方法	時間	損失	
		煮る	焼く
煮る	7分	3,75	0,2
同	12	5,90	0,6
同	20	7,40	一
同	45	11,00	一
焼く	7	1,70	0,10
同	12	2,40	0,25
同	35	4,15	一
同	120	5,15	一

伊太利の少女隊

ローマで

国民精神に鼓吹ゆる伊國の少女たち右端はアンナ・マリア・ムッソリーニ嬢やはりお父さんによく似てゐますね

一般蛋白食品は加熱によつて消化が良くなります。例へば卵の殻より、生卵は軟卵よりも、消化時間が短いのです。

次に、加熱調理によつてどれだけ蛋白質が損失するかといふと加熱の方法や食品の種類によつて一定しませんが、一般に蛋白質が水分に溶け易いからです。

食品を煮る、蒸す、焼くの三つに比較すると、焼く場合が最も損失が少く、煮る場合がこれに次ぎ、煮る場合が最も損失が大です。次に加熱の温度と時間と損失の関係は一般に温度が高いほど時間が長いほど損失が大であります。但し温度では八〇度と一〇〇度ではまだ一〇〇度と一二〇度では著しい差異がない。時間では十分以内が特に著しく温度変化ほど約六時間を経過すれば程度変化がありません。以上蛋白と牛肉の調理について調べてみました。

はんぺん汁

これこそ萬人向料理

若狭わかめはしばらく水につけて軟かになつたら細かを切り、一寸位に切つておきます。生べんは一寸位に切つておきます。三角四枚と醤油一杯を入れて三分間位煮ます。そこで味噌を茶漉で漉すのはして普通の味噌汁のやうにして生べんを入れて火にかけ、ふつと煮上るのを待ちて火から下し椀に若布を少し入れその上からこの味噌汁を注ぎ入れてすゝめます。味噌汁はあまりグラグラ煮立てますと風味がなくなつてしまひますから御用心の事！

モメ容美

寒の荒れを防ぐには

寒くなると、風にあたつたり、冒険をしたりして唇が荒れ易いものですが、これを予防するにはお勝みになる時、お顔のマッサージをする代に、口紅を試しておとし、又風邪をひいたりして唇が荒れ易いものですが、これを予防するにはお勝みになる時、お顔のマッサージをする代に、口紅を試しておとし、唇の隅も一切つておきます。そこで味噌を茶漉で漉すのはして普通の味噌汁のやうにして生べんを入れて火にかけ、ふつと煮上るのを待ちて火から下し椀に若布を少し入れその上からこの味噌汁を注ぎ入れてすゝめます。味噌汁はあまりグラグラ煮立てますと風味がなくなつてしまひますから御用心の事！

今……多數の酵母劑か、エビオス錠に置き換へられつゝあります。

米食國民の健康を低下する最大の原因……胃腸病或は脚氣に有効なビタミンB₁は勿論、B₂…B₆などのあらゆるビタミンB複合體(レックス)を天然物中(てんねんぶつちゅう)第一位に含有する麥酒酵母の製劑で然も純國産を誇るからです

なぜ…麥酒酵母が良い　麥酒醸造には腐敗菌の繁殖しない大麥を使用しますが、その際麥と緊密に合成するビタミンB複合體は醸造工程中に溶け出して酵母に吸着する作用があります。これを搾り出した麥酒酵母が良質のB複合體と言はれる所以です

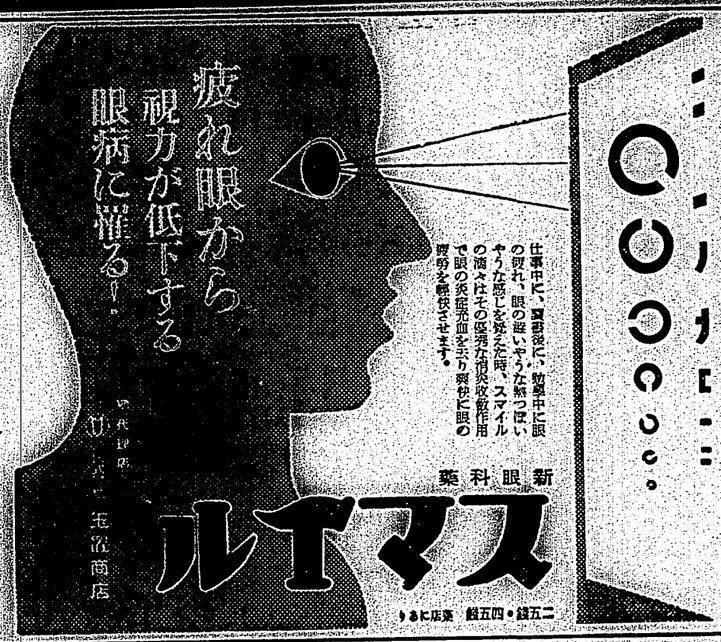
エビオス錠

伊豆椿　ドーマポ皿灰

廢品利用時代
空瓶が灰皿となる
全く素的な再生！

植物性芳香
品質優秀
洗髪爽快
ポマードは
これにかぎる

製造元　大阪大正区鶴町　大機彩芳園



疲れ眼から視力が低下する眼病に罹る！

仕事中に、勉強後に、勉強中に眼の疲れ、眼の淀いやうな紛つぽいやうな感じを覚えた時、スマイルの滴剤はその優秀な消炎收斂作用で眼の炎症充血をおり眼秋に眼の明るさを恢復させます。

新眼科藥　ルミス

二五錢・四五錢　販賣店

本舗　大阪　大機彩芳園

水虫

新治療劑

セイロホンOSS注射劑

セイロホン「シラキ」外用劑

固定用外	乾白汗	其他皮膚疾患二用ニテ奏効有
全國藥店一有リ	癬(ヘルペス)・湿疹(インキンこ)・白癬(シラクモ)・頑癬(ナマケ)	

文試進呈

製造元　大阪市東區平野町一　白井松新藥部
販賣大阪六六八四番　代理店
同東西藥房　三河豊永市北

煉の香馥郁…

口中に滿ちて
使ひ心地滿點
仁丹の煉齒磨

經濟的で効果が確實
その上……米獨品に
優る完全チューブ入

外に　粉末・液性・粉の三種

仁丹齒磨

昭和の常識

靖國神社大鳥居前側の石狛犬は日清の戰利品

三十萬分の一臺灣全圖

定價一五〇　發行所　臺灣日日新報社商事部

タンにセキに呼吸器敵

御婦人ののぼせにはすぐノーシン●

服めば樂になる

クラブ級化粧品

…るす進増を美と康健の膚皮

肌アレ期の今こそ
美理効果が實証さる！

クラブ乳液

ホルモン、ビタミン、アルモンドの綜合顆効あればこそ皮膚は能ち清淨に強化されいかなる寒冷に對しても決して荒れない美しい健康肌を創るのです。

クラブ・クリーム

強力栄養クリームとしての威力がそれと判ります……肌のアレ止め、若返りにビビモヤケの予防に、白粉下にこれ以上ない滿足が得られます。

馬に乘る猿

(20)

石川達三作

伊東顯畫

立志成功譚（七）

井筒屋は昨日のように歩いて、四たび倒産の危機を訪問した。彼は昨日のように、ふところにあまりない。多くは期待していない。ただ、彼は昨日のように、「今度れ、僕の社で立志成功談といふ本を出すんですよ。現在生きて居る者名の上でれ、場力で成功したといふ人物を二十人ほどれ、傳記を書くんです。あんたの社ではどうです。」と言ふ。

「成功と言ふと？」

「成功と言ふと？」

竹下部は経営学の学問的知識はもたない。他人の表と彼の六感とで学問の不足を補つて行くのであつた。

「要するに資本の額定で以て却ひに仕事をやつて行く事になるわけですね。」

「自由民衆の時代が来る……資本相互に合併しないと立ち行かなくなる……」

彼は醤のなかで何十遍となくこの言葉を噛みしめて見るのであつた。

「ふん、新聞記者は、何でも大袈裟に言ふからな。

（第一種郵便物認可）（明治卅一年五月九日第二種郵便物認可）昭和十四年十二月二日（土曜日）　臺灣日日新報號外　第一萬四千二百六十六號　（一）

臺灣日日新報

本日夕刊共二十頁

社報新日日新報　所行發

定價　一部六錢　一ヶ月壹圓參拾五錢　三ヶ月金八圓（內地壹圓參拾錢・臺灣壹圓六拾錢・滿洲壹圓六拾錢）　半年金拾六圓（內地貳圓六拾錢・臺灣貳圓壹拾錢・滿洲貳圓壹拾錢）　一年金參拾貳圓（內地五圓貳拾錢・臺灣五圓六拾錢・滿洲五圓六拾錢）

廣告料　普通欄一行十五字　壹圓　特別欄一行同上　貳圓

振替口座臺北二番　電話代表八〇二三番　編輯局八〇二五番　營業局八〇二六番

社說

ソ聯の懷く野望小ならず

芬蘭の制壓は豫定の行動

ソ聯とフインランドとの國境紛爭は惡化し、國交斷絕の眞因さえ潛んでゐるかのあつたが、俄然從來の問題に一轉回、去る二十九日ソ聯外務人民委員代理ロゾフスキーと在露フインランド公使との會見を以て、早くも翌三十日には全線に亘つて兩軍の撤退を見るに至つた。此間ソ聯が如何に芬蘭の態度に對して憤慨したかは、ソ聯側の發表した數字によつても明かである。即ち十一月三十日ソ聯領土に對する芬蘭軍の砲撃は實に二百三十回、ソ聯軍の越境は僅かに二回に過ぎず、ソ聯側の死傷者は僅かに三名に對し、芬蘭側は實に千三百名に上つたと稱してゐる。

ソ聯は芬蘭の挑發的態度に對し、最初は單に抗議を以て臨んだが、芬蘭側の態度は一向改まらず、遂に武力を以て芬蘭の反省を促すの已むなきに至つたのである。

ソ聯とフインランドとの國境紛爭は、ソ聯の懷く野望小ならざるものがあつたが、俄然從來の問題に一轉回、去る二十九日ソ聯外務人民委員代理ロゾフスキーと在露フインランド公使との會見を以て、早くも翌三十日には全線に亘つて兩軍の撤退を見るに至つた。此間ソ聯が如何に芬蘭の態度に對して憤慨したかは、ソ聯側の發表した數字によつても明かである。即ち十一月三十日ソ聯領土に對する芬蘭軍の砲撃は實に二百三十回、ソ聯軍の越境は僅かに二回に過ぎず、ソ聯側の死傷者は僅かに三名に對し、芬蘭側は實に千三百名に上つたと稱してゐる。

ソ聯は初から芬蘭の無禮な挑發的態度に對し、最初は單に抗議を以て臨んだが、芬蘭側の態度は一向改まらず、遂に武力を以て芬蘭の反省を促すの已むなきに至つたのである。

ソ聯とフインランドとの國境紛爭は惡化し、國交斷絕の眞因さえ潛んでゐるかの

現地調辦の視角から 滿洲の米自給急務

日滿支の米生産力（四）

水稻栽培の方が有利の如く一般的に増大してゐる

	水稻田	陸稻田	水稻田	陸稻田
年次	作付坪數	作付坪數	收穫高	收穫高
大正元年	千坪	千坪	千噸	千噸
昭和元年	二、六〇二	一、七七一	一、〇八〇	一、〇二二
十二年	三、〇三二	二、〇三〇	一、二五一	一、一五一
十三年	三、一四一	二、一三五	一、三〇九	一、一九六
十四年	三、二五一	二、一六一	一、三四一	一、二一六
五年	三、三七七	二、一九六	一、三九一	一、二一六

滿洲國が國內生產の外に、國內消費の增大に應じ、尙ほ且つ輸出力を有つ爲には、米作の增産を圖ることが最も必要である。そこで、最近の日本米穀對滿政策の動向を見ると、滿洲國內生產の增大に應じ、日滿支間の米穀需給關係を調整することが、滿洲國の米穀政策の重要な課題となつてゐる。それ丈け滿洲國內に於ける米の生產高も相當多額であるが、この米の增產も在滿日本人を目標としてゐるのであつて、日本への輸出餘力を保有するほど積極的な增產は行はれてゐないのである

◇…更に　北支を見るとここは綿作地帶で、米作は山東省內に若干行はれてゐる位で、その生產力は問題でないが水利施設さへ講ぜられば米の生產も相當可能である。しかし、北支に米作を奬勵することは疑問である許りか「滿洲」を殘す程もない。一方、中南支は世界的な米產地であり、白米にして年二億九千七百萬石を生產してゐるが、この生產高を以てしても、尙七百萬石以上の米を輸入しなければ自給し得ない實情である消費力がある。この支那米は他の何れの外國米よりも日本米に近い食味があるので、万一の場合は外交と交換に日本へ持つて來る可能性がある

◇…以上　を要するに、日滿支に於ける米の生產力は東亞ブロック的に觀ると先づ自給の程度であるが、自給的生產條件に對する餘力性を保有する爲には、個個の條件を具たさねばならず、ことに長期戰下に於ては、國民食糧の現狀たる米は相當生產力を高めて供給に具へて置く必要がある

殖える島內郵貯

四千萬圓にいま一息

十一月末現在に於ける島內郵便貯金現在高は金額一千九百八十万六千二百十八人位に當つたため、中旬から下旬にかけてやゝ振ひ下り傾向に至つてゐるが、十一月末現在との比較では人數は十五万七千七百七十八人、金額は九百二万九千円の各減少である

【東京二日發同盟】大藏省預金部發表の十一月末現在の郵貯人口は二千九百八十一万二千三百二十人であつた。昨月末現在との比較では人數は十五万七千七百七十八人、金額は九百二万九千円の各減少である

大豆、豆粕、味の素等 九・一八價格を是正

協定價格を近く認可せん

扶養控除は稅額から

主稅局で改訂採用に決定

依つて

一、右減收補塡財源は當初の試案よりも扶養控除額が多くなる關係上所得稅額の約一割五百円の減收者で約三人ある場合當初の案に依れば基礎控除六百円扶養控除四百五十円で稅額百分の六であるからその稅額は二十七円であるが今回の改正に依ると基礎控除九百円に對して稅率百分の六でその稅額五十四円これより更に扶養控除額として二十六円（被扶養者三人）を差引くから結局稅額は十八円となる即ち當初の案に比し九円だけ稅額が減少となる計算である

所得稅改革案

【東京一日發同盟】

稅制改革綜中分離所得稅については主稅局當局に於て目下研究中であるが、その內容は大體次の如くである

一、分離所得稅の稅率は現行の總合所得稅の稅率に於ける最低稅率と最高稅率との中間に稅率を定めること

一、右減收補塡財源は當初の試案よりも扶養控除額が多くなる關係上所得稅額の約一割五百円の減收者で約三人ある場合當初の案に依れば基礎控除六百円扶養控除四百五十円で稅額百分の六であるからその稅額は二十七円であるが今回の改正に依ると基礎控除九百円に對して稅率百分の六でその稅額五十四円これより更に扶養控除額として二十六円（被扶養者三人）を差引くから結局稅額は十八円となる即ち當初の案に比し九円だけ稅額が減少となる計算である

赤糖の朝鮮割當

糖蜜の移出を制限

今期赤糖の仕向地別割當數竝に內地、朝鮮移出移び耕種の指定は既報の如く決定したが、右の內朝鮮移出二十五万瓲の內容に關しては朝鮮移出糖原料として一年間に於ける燒酎原料として一年間に於ける燒酎原料として一年間に於ける燒酎

朝日新聞 大正十五年四月二十五日 第四千三百九十五號

アルプスの戦備は成る！佛國の手で

國共協商を續り將苦境に立つ

坂三を

防ぐに

三日の内服
初一年有效

チフス……1人用 ¥.20
赤痢……1人用 ¥.30
疫痢……1人用 ¥.15
コレラ……1人用 ¥.24

三共株式會社
出張所 東北帝國大學前一丁目

三共の胃腸藥ビタミン

筆年蔵と具文

胃腸藥中田
店舗 東京 日本橋區通三丁目
電話日本橋五百番

安心の胃腸藥

安全な胃腸藥

安心の胃腸藥

安全な胃腸藥

安心の胃腸藥

安全な胃腸藥

激流（31）

（第四回）

久生十蘭作
伊勢良夫畫

「落葉の記（六）

兄が訪ねようと訪ねまいと、それは僕の自由で、他人から咎め立てされる理由もなく、そんなこと、いちいち答へなければならないほどのこともないので、幸子は、殊更、平氣な口調で、

「それは、別に深い意味のあることでございません。……兄はいつもよくしてくださいますので、その内にそのなにかになってしまひまして……ただ、兄の方には、一週間に一度位は、わたくしのところへ寄ってくれました」

幸子がおとなしい出ようをしたので、兄の方も警戒を緩へたといふ風で、すぐ話題に移り、

「……ん、あちら様の良い様ではなかったようね」

といって、ズボンの膝に兩手を突込んで、椅子の背に凭れ、少し口調で、

「自分といふことは言ってゐるんだが、金を入れるに絶たことはないんだから、それで、まア、堪忍してやってくれ」

幸子の心を、何ともつかぬ、ドキッとするやうな考へが掠めた。

「何か変つた様子はしてゐなかつたかね」

「……別に、そんな風には見えませんでした。明んだやうな顔もしてゐませんでしたし、さうかといって、わざとらしいそうなところもなかったやうです。……二週、兄は靴脱を顔に現はすなので、それはそれはまア、

「ああ、昨日の夕方だね……」

無意味に繰返してから、如何にも作ったやうな笑ひ声をたてた。

「つい、昨日の夕方迄ひまして、漠力の損失を防ぐためには非常な努力の拂はれてゐることがわかる。

コリプリの構造及び性能

翼　双翼、明照なる上反を有す

操縦　複座式

機体　一六・五五方米

自重　一、八〇〇瓩

全備重量　五〇〇瓩

安全率　七

最高速度　一五五粁（時速）

最低速度　四五・五〇粁（同）

燃料消費量　毎時一八立

機関　全部前据

発動機　ミニヨ・ホルス六〇、一七〇馬力四シリンダー倒立二、四六〇瓦機、一個所式、磁石発電機、スキンチラ式、強制潤滑ゼニット式

方角と陽當り

住宅地を買ふ人の心得

×

さて、地勢は概ね平坦で排水よく、空気は清き日當りよく夏涼しく夏温しのよいことは、誰しも望むところ、断然南か或は東南に緩傾斜があって、西北からの風を避けやうなところが理想的です。しかし寒風を避けるからといっても陰かげってはいけません。家との間が狭り過ぎたり、地霊や塵埃の際に危険が起りやすく、庇の頂上などは調風のよさを通り越して吹曝しとなり、また、かうしたところは一般に交通が便よい結果を招きます。

×

道路が敷地の西側にある土地は入口を西北に設けることが出来るために、いはゆる「鬼の裏照」となり、家相上よいばかりでなく実も明かに……ミス・カバヤ、アサヒ・ビール、六、歌謡曲……楽しめる、伊勢一アイチク音楽学園（ハ）吹奏楽（ハ）大阪の子守唄（ニ）吉良の吉良日記（ロ）雨の四馬路（ハ）大阪の子守唄（ニ）吉良の吉良

【九・四〇】時報（東京）

【九・四一】名曲鑑賞（レコード）

管絃楽＝数個のブナクレオン序曲（ケルビーニ作曲）絃楽合奏の「夜曲」作品四八（チャイコフスキー作曲）ワルツ…アムステルダム・コンセルトゲバウ管絃楽団、指揮＝ウイルレム・メンゲルベルク

【一〇・〇〇】国際報道ニュース、公示事項、時報

【一〇・一〇】放送局編輯ニュース、新聞社提供ニュース、公示事項、時報、明日のプログラム（録音）

【一〇・〇五】英語ニュース

【一〇・一〇】北京発ニュース

【一〇・二〇】国際報道ニュース

【一〇・三〇】馬来語ニュース

【一〇・四〇】国語ニュース

【一〇・四五】ラヂオ体操

【一〇・五〇】子供の時間（東京）

【一一・〇〇】肉聲放送司令塔（第北日田品小神田設、商業紹介事項、各局）

【一一・一〇】国際官報ニュース

【一一・一五】正午の時報（東京）、四聲放送（第北）、報道ニュース、公示事項、時報、午後の放送番組予定（各局）

【一二・〇〇】番組綜合時報（東京）

【一二・一〇】国際官報ニュース

【一二・一五】正午の時報（東京）、四聲放送（第北）、報道ニュース、公示事項、時報、午後の放送番組予定（各局）

【一二・四五】ニュース

【一三・〇〇】子供の時間（東京）

【一三・一〇】講演（岡山）「時と人形の話」

【一三・三〇】ニュース

【一三・四五】コドモのニュース（第北）

【一四・〇〇】子供の時間（東京）、幸小説（昭和四年）平岡芳子

【一四・三〇】ニュース

【一四・四〇】講演（岡山）「時と人形の話」

【一四・五〇】ニュース

【一五・〇〇】講演（岡山）「時と人形の話」

【一五・一〇】ニュース

【一五・二〇】講演（岡山）「時と人形の話」

【一五・三〇】ニュース

【一五・四〇】ニュース

【一五・四五】カレント・トピックス（東京）

【夜】

【七・〇〇】子供の時間（東京）、幸小説（昭和四年）平岡芳子

【七・三〇】朝の修養（東京）、興亜の精神を説く（二）原田時雨…聖徳太子

【七・五〇】朝の音楽（レコード）

管絃楽＝夏夜の夢とトリヤンデルスプーン作曲、組曲行進曲、結婚＝ミラノ女管絃楽団

【八・〇〇】ニュース

【八・一〇】初等ドイツ語講座（第三十六講）（第北）西田正一

【九・二五】内閣官報、船舶時報、気象＝船舶気象通報及海況、時報

【九・四五】ラヂオ体操、第北

【九・五〇】ラヂオ体操

【一〇・〇〇】ニュース

【一〇・一五】尺八音楽＝琴古流本曲、鹿の遠音、鶴の巣籠、虫の音、秋の夜、鈴慕＝青木鈴慕

【一〇・三〇】ニュース

【一〇・四〇】国際及国内気象通報

【一〇・四五】馬来語ニュース

【一〇・五〇】国語ニュース

【一〇・五五】ニュース

【一一・〇〇】ニュース

【一一・一〇】ニュース

【一一・二〇】ニュース

【一一・三〇】ニュース

【一一・四〇】ニュース

【一一・四五】ニュース

【一一・五〇】ニュース

【一一・五五】ニュース

【一二・〇〇】ニュース

【一二・一〇】ニュース

【一二・二〇】ニュース

【一二・三〇】ニュース

【一二・四〇】ニュース

【一二・四五】ニュース

【一二・五〇】ニュース

【一二・五五】ニュース

【一三・〇〇】ニュース

【一三・一〇】ニュース

【一三・二〇】ニュース

【一三・三〇】ニュース

【一三・四〇】ニュース

【一三・四五】ニュース

【一三・五〇】ニュース

【一三・五五】ニュース

【一四・〇〇】ニュース

【一四・一〇】ニュース

【一四・二〇】ニュース

【一四・三〇】ニュース

【一四・四〇】ニュース

【一四・四五】ニュース

【一四・五〇】ニュース

【一四・五五】ニュース

【一五・〇〇】ニュース

【一五・一〇】ニュース

【一五・二〇】ニュース

【一五・三〇】ニュース

【一五・四〇】ニュース

【一五・四五】ニュース

【一五・五〇】ニュース

【一五・五五】ニュース

【一六・〇〇】ニュース

【一六・一〇】ニュース

【一六・二〇】ニュース

【一六・三〇】ニュース

【一六・四〇】ニュース

【一六・四五】ニュース

【一六・五〇】ニュース

【一六・五五】ニュース

【一七・〇〇】ニュース

【一七・一〇】ニュース

【一七・二〇】ニュース

【一七・三〇】ニュース

【一七・四〇】ニュース

【一七・四五】ニュース

【一七・五〇】ニュース

【一七・五五】ニュース

【一八・〇〇】ニュース

【一八・一〇】ニュース

【一八・二〇】ニュース

【一八・三〇】ニュース

【一八・四〇】ニュース

【一八・四五】ニュース

【一八・五〇】ニュース

【一八・五五】ニュース

【一九・〇〇】ニュース

【一九・一〇】ニュース

【一九・二〇】ニュース

【一九・三〇】ニュース

【一九・四〇】ニュース

【一九・四五】ニュース

【一九・五〇】ニュース

【一九・五五】ニュース

【二〇・〇〇】ニュース

【二〇・一〇】ニュース

【二〇・二〇】ニュース

【二〇・三〇】ニュース

【二〇・四〇】ニュース

【二〇・四五】ニュース

【二〇・五〇】ニュース

【二〇・五五】ニュース

【二一・〇〇】ニュース

【二一・一〇】ニュース

【二一・二〇】ニュース

【二一・三〇】ニュース

【二一・四〇】ニュース

【二一・四五】ニュース

【二一・五〇】ニュース

【二一・五五】ニュース

【二二・〇〇】ニュース

【二二・一〇】ニュース

【二二・二〇】ニュース

【二二・三〇】ニュース

【二二・四〇】ニュース

【二二・四五】ニュース

【二二・五〇】ニュース

【二二・五五】ニュース

【二三・〇〇】ニュース

【二三・一〇】ニュース

【二三・二〇】ニュース

【二三・三〇】ニュース

【二三・四〇】ニュース

【二三・四五】ニュース

【二三・五〇】ニュース

【二三・五五】ニュース

【二四・〇〇】ニュース

【二四・一〇】ニュース

【二四・二〇】ニュース

【二四・三〇】ニュース

【二四・四〇】ニュース

【二四・四五】ニュース

【二四・五〇】ニュース

【二四・五五】ニュース

【二五・〇〇】ニュース

【二五・一〇】ニュース

【二五・二〇】ニュース

【二五・三〇】ニュース

【二五・四〇】ニュース

【二五・四五】ニュース

【二五・五〇】ニュース

【二五・五五】ニュース

【二六・〇〇】ニュース

【二六・一〇】ニュース

【二六・二〇】ニュース

【二六・三〇】ニュース

【二六・四〇】ニュース

【二六・四五】ニュース

【二六・五〇】ニュース

【二六・五五】ニュース

【二七・〇〇】ニュース

【二七・一〇】ニュース

【二七・二〇】ニュース

【二七・三〇】ニュース

【二七・四〇】ニュース

【二七・四五】ニュース

【二七・五〇】ニュース

【二七・五五】ニュース

【二八・〇〇】ニュース

【二八・一〇】ニュース

【二八・二〇】ニュース

【二八・三〇】ニュース

【二八・四〇】ニュース

【二八・四五】ニュース

【二八・五〇】ニュース

【二八・五五】ニュース

【二九・〇〇】ニュース

【二九・一〇】ニュース

【二九・二〇】ニュース

【二九・三〇】ニュース

【二九・四〇】ニュース

【二九・四五】ニュース

【二九・五〇】ニュース

【二九・五五】ニュース

【三〇・〇〇】ニュース

【三〇・一〇】ニュース

【三〇・二〇】ニュース

【三〇・三〇】ニュース

【三〇・四〇】ニュース

【三〇・四五】ニュース

【三〇・五〇】ニュース

【三〇・五五】ニュース

【三一・〇〇】ニュース

【三一・一〇】ニュース

【三一・二〇】ニュース

【三一・三〇】ニュース

【三一・四〇】ニュース

【三一・四五】ニュース

【三一・五〇】ニュース

【三一・五五】ニュース

【三二・〇〇】ニュース

【三二・一〇】ニュース

【三二・二〇】ニュース

【三二・三〇】ニュース

【三二・四〇】ニュース

【三二・四五】ニュース

【三二・五〇】ニュース

【三二・五五】ニュース

【三三・〇〇】ニュース

【三三・一〇】ニュース

【三三・二〇】ニュース

【三三・三〇】ニュース

【三三・四〇】ニュース

【三三・四五】ニュース

【三三・五〇】ニュース

【三三・五五】ニュース

【三四・〇〇】ニュース

【三四・一〇】ニュース

【三四・二〇】ニュース

【三四・三〇】ニュース

【三四・四〇】ニュース

【三四・四五】ニュース

【三四・五〇】ニュース

【三四・五五】ニュース

【三五・〇〇】ニュース

【三五・一〇】ニュース

【三五・二〇】ニュース

【三五・三〇】ニュース

【三五・四〇】ニュース

【三五・四五】ニュース

【三五・五〇】ニュース

【三五・五五】ニュース

【三六・〇〇】ニュース

【三六・一〇】ニュース

【三六・二〇】ニュース

【三六・三〇】ニュース

【三六・四〇】ニュース

【三六・四五】ニュース

【三六・五〇】ニュース

【三六・五五】ニュース

【三七・〇〇】ニュース

【三七・一〇】ニュース

【三七・二〇】ニュース

【三七・三〇】ニュース

【三七・四〇】ニュース

【三七・四五】ニュース

【三七・五〇】ニュース

【三七・五五】ニュース

【三八・〇〇】ニュース

【三八・一〇】ニュース

【三八・二〇】ニュース

【三八・三〇】ニュース

【三八・四〇】ニュース

【三八・四五】ニュース

【三八・五〇】ニュース

【三八・五五】ニュース

【三九・〇〇】ニュース

【三九・一〇】ニュース

【三九・二〇】ニュース

【三九・三〇】ニュース

【三九・四〇】ニュース

【三九・四五】ニュース

【三九・五〇】ニュース

【三九・五五】ニュース

【四〇・〇〇】ニュース

【四〇・一〇】ニュース

【四〇・二〇】ニュース

【四〇・三〇】ニュース

【四〇・四〇】ニュース

【四〇・四五】ニュース

【四〇・五〇】ニュース

【四〇・五五】ニュース

【四一・〇〇】ニュース

【四一・一〇】ニュース

【四一・二〇】ニュース

【四一・三〇】ニュース

【四一・四〇】ニュース

【四一・四五】ニュース

【四一・五〇】ニュース

【四一・五五】ニュース

【四二・〇〇】ニュース

【四二・一〇】ニュース

【四二・二〇】ニュース

【四二・三〇】ニュース

【四二・四〇】ニュース

【四二・四五】ニュース

【四二・五〇】ニュース

【四二・五五】ニュース

【四三・〇〇】ニュース

【四三・一〇】ニュース

【四三・二〇】ニュース

【四三・三〇】ニュース

【四三・四〇】ニュース

【四三・四五】ニュース

【四三・五〇】ニュース

【四三・五五】ニュース

【四四・〇〇】ニュース

【四四・一〇】ニュース

【四四・二〇】ニュース

【四四・三〇】ニュース

【四四・四〇】ニュース

【四四・四五】ニュース

【四四・五〇】ニュース

【四四・五五】ニュース

【四五・〇〇】ニュース

【四五・一〇】ニュース

【四五・二〇】ニュース

【四五・三〇】ニュース

【四五・四〇】ニュース

【四五・四五】ニュース

【四五・五〇】ニュース

【四五・五五】ニュース

【四六・〇〇】ニュース

【四六・一〇】ニュース

【四六・二〇】ニュース

【四六・三〇】ニュース

【四六・四〇】ニュース

【四六・四五】ニュース

【四六・五〇】ニュース

【四六・五五】ニュース

【四七・〇〇】ニュース

【四七・一〇】ニュース

【四七・二〇】ニュース

【四七・三〇】ニュース

【四七・四〇】ニュース

【四七・四五】ニュース

【四七・五〇】ニュース

【四七・五五】ニュース

【四八・〇〇】ニュース

【四八・一〇】ニュース

【四八・二〇】ニュース

【四八・三〇】ニュース

【四八・四〇】ニュース

【四八・四五】ニュース

【四八・五〇】ニュース

【四八・五五】ニュース

【四九・〇〇】ニュース

【四九・一〇】ニュース

【四九・二〇】ニュース

【四九・三〇】ニュース

【四九・四〇】ニュース

【四九・四五】ニュース

【四九・五〇】ニュース

【四九・五五】ニュース

【五〇・〇〇】ニュース

【五〇・一〇】ニュース

【五〇・二〇】ニュース

【五〇・三〇】ニュース

【五〇・四〇】ニュース

【五〇・四五】ニュース

【五〇・五〇】ニュース

【五〇・五五】ニュース

【五一・〇〇】ニュース

【五一・一〇】ニュース

【五一・二〇】ニュース

【五一・三〇】ニュース

【五一・四〇】ニュース

【五一・四五】ニュース

【五一・五〇】ニュース

【五一・五五】ニュース

【五二・〇〇】ニュース

【五二・一〇】ニュース

【五二・二〇】ニュース

【五二・三〇】ニュース

【五二・四〇】ニュース

【五二・四五】ニュース

【五二・五〇】ニュース

【五二・五五】ニュース

【五三・〇〇】ニュース

【五三・一〇】ニュース

【五三・二〇】ニュース

【五三・三〇】ニュース

【五三・四〇】ニュース

【五三・四五】ニュース

【五三・五〇】ニュース

【五三・五五】ニュース

【五四・〇〇】ニュース

【五四・一〇】ニュース

【五四・二〇】ニュース

【五四・三〇】ニュース

【五四・四〇】ニュース

【五四・四五】ニュース

【五四・五〇】ニュース

【五四・五五】ニュース

【五五・〇〇】ニュース

【五五・一〇】ニュース

【五五・二〇】ニュース

【五五・三〇】ニュース

【五五・四〇】ニュース

【五五・四五】ニュース

【五五・五〇】ニュース

【五五・五五】ニュース

【五六・〇〇】ニュース

【五六・一〇】ニュース

【五六・二〇】ニュース

【五六・三〇】ニュース

【五六・四〇】ニュース

【五六・四五】ニュース

【五六・五〇】ニュース

【五六・五五】ニュース

【五七・〇〇】ニュース

【五七・一〇】ニュース

【五七・二〇】ニュース

【五七・三〇】ニュース

【五七・四〇】ニュース

【五七・四五】ニュース

【五七・五〇】ニュース

【五七・五五】ニュース

【五八・〇〇】ニュース

【五八・一〇】ニュース

【五八・二〇】ニュース

【五八・三〇】ニュース

【五八・四〇】ニュース

【五八・四五】ニュース

【五八・五〇】ニュース

【五八・五五】ニュース

【五九・〇〇】ニュース

【五九・一〇】ニュース

【五九・二〇】ニュース

【五九・三〇】ニュース

【五九・四〇】ニュース

【五九・四五】ニュース

【五九・五〇】ニュース

【五九・五五】ニュース

【六〇・〇〇】ニュース

【六〇・一〇】ニュース

【六〇・二〇】ニュース

【六〇・三〇】ニュース

【六〇・四〇】ニュース

【六〇・四五】ニュース

【六〇・五〇】ニュース

【六〇・五五】ニュース

【六一・〇〇】ニュース

【六一・一〇】ニュース

【六一・二〇】ニュース

【六一・三〇】ニュース

【六一・四〇】ニュース

【六一・四五】ニュース

【六一・五〇】ニュース

【六一・五五】ニュース

【六二・〇〇】ニュース

【六二・一〇】ニュース

【六二・二〇】ニュース

【六二・三〇】ニュース

【六二・四〇】ニュース

【六二・四五】ニュース

【六二・五〇】ニュース

【六二・五五】ニュース

【六三・〇〇】ニュース

【六三・一〇】ニュース

【六三・二〇】ニュース

【六三・三〇】ニュース

【六三・四〇】ニュース

【六三・四五】ニュース

【六三・五〇】ニュース

【六三・五五】ニュース

【六四・〇〇】ニュース

【六四・一〇】ニュース

【六四・二〇】ニュース

【六四・三〇】ニュース

【六四・四〇】ニュース

【六四・四五】ニュース

【六四・五〇】ニュース

【六四・五五】ニュース

【六五・〇〇】ニュース

【六五・一〇】ニュース

【六五・二〇】ニュース

【六五・三〇】ニュース

【六五・四〇】ニュース

【六五・四五】ニュース

【六五・五〇】ニュース

【六五・五五】ニュース

【六六・〇〇】ニュース

【六六・一〇】ニュース

【六六・二〇】ニュース

【六六・三〇】ニュース

【六六・四〇】ニュース

【六六・四五】ニュース

【六六・五〇】ニュース

【六六・五五】ニュース

【六七・〇〇】ニュース

【六七・一〇】ニュース

【六七・二〇】ニュース

【六七・三〇】ニュース

【六七・四〇】ニュース

【六七・四五】ニュース

【六七・五〇】ニュース

【六七・五五】ニュース

【六八・〇〇】ニュース

【六八・一〇】ニュース

【六八・二〇】ニュース

【六八・三〇】ニュース

【六八・四〇】ニュース

【六八・四五】ニュース

【六八・五〇】ニュース

【六八・五五】ニュース

【六九・〇〇】ニュース

【六九・一〇】ニュース

【六九・二〇】ニュース

【六九・三〇】ニュース

【六九・四〇】ニュース

【六九・四五】ニュース

【六九・五〇】ニュース

【六九・五五】ニュース

【七〇・〇〇】ニュース

【七〇・一〇】ニュース

【七〇・二〇】ニュース

【七〇・三〇】ニュース

【七〇・四〇】ニュース

【七〇・四五】ニュース

【七〇・五〇】ニュース

【七〇・五五】ニュース

【七一・〇〇】ニュース

【七一・一〇】ニュース

【七一・二〇】ニュース

【七一・三〇】ニュース

【七一・四〇】ニュース

【七一・四五】ニュース

【七一・五〇】ニュース

【七一・五五】ニュース

【七二・〇〇】ニュース

【七二・一〇】ニュース

【七二・二〇】ニュース

【七二・三〇】ニュース

【七二・四〇】ニュース

【七二・四五】ニュース

【七二・五〇】ニュース

【七二・五五】ニュース

【七三・〇〇】ニュース

【七三・一〇】ニュース

【七三・二〇】ニュース

【七三・三〇】ニュース

【七三・四〇】ニュース

【七三・四五】ニュース

【七三・五〇】ニュース

【七三・五五】ニュース

【七四・〇〇】ニュース

【七四・一〇】ニュース

【七四・二〇】ニュース

【七四・三〇】ニュース

【七四・四〇】ニュース

【七四・四五】ニュース

【七四・五〇】ニュース

【七四・五五】ニュース

【七五・〇〇】ニュース

【七五・一〇】ニュース

【七五・二〇】ニュース

【七五・三〇】ニュース

【七五・四〇】ニュース

【七五・四五】ニュース

【七五・五〇】ニュース

【七五・五五】ニュース

【七六・〇〇】ニュース

【七六・一〇】ニュース

【七六・二〇】ニュース

【七六・三〇】ニュース

【七六・四〇】ニュース

【七六・四五】ニュース

【七六・五〇】ニュース

【七六・五五】ニュース

【七七・〇〇】ニュース

【七七・一〇】ニュース

【七七・二〇】ニュース

【七七・三〇】ニュース

【七七・四〇】ニュース

【七七・四五】ニュース

【七七・五〇】ニュース

【七七・五五】ニュース

【七八・〇〇】ニュース

【七八・一〇】ニュース

【七八・二〇】ニュース

【七八・三〇】ニュース

【七八・四〇】ニュース

【七八・四五】ニュース

【七八・五〇】ニュース

【七八・五五】ニュース

【七九・〇〇】ニュース

【七九・一〇】ニュース

【七九・二〇】ニュース

【七九・三〇】ニュース

【七九・四〇】ニュース

【七九・四五】ニュース

【七九・五〇】ニュース

【七九・五五】ニュース

【八〇・〇〇】ニュース

【八〇・一〇】ニュース

【八〇・二〇】ニュース

【八〇・三〇】ニュース

【八〇・四〇】ニュース

【八〇・四五】ニュース

【八〇・五〇】ニュース

【八〇・五五】ニュース

【八一・〇〇】ニュース

【八一・一〇】ニュース

【八一・二〇】ニュース

【八一・三〇】ニュース

【八一・四〇】ニュース

【八一・四五】ニュース

【八一・五〇】ニュース

【八一・五五】ニュース

【八二・〇〇】ニュース

【八二・一〇】ニュース

【八二・二〇】ニュース

【八二・三〇】ニュース

【八二・四〇】ニュース

【八二・四五】ニュース

【八二・五〇】ニュース

【八二・五五】ニュース

【八三・〇〇】ニュース

【八三・一〇】ニュース

【八三・二〇】ニュース

【八三・三〇】ニュース

【八三・四〇】ニュース

【八三・四五】ニュース

【八三・五〇】ニュース

【八三・五五】ニュース

【八四・〇〇】ニュース

【八四・一〇】ニュース

【八四・二〇】ニュース

【八四・三〇】ニュース

【八四・四〇】ニュース

【八四・四五】ニュース

【八四・五〇】ニュース

【八四・五五】ニュース

【八五・〇〇】ニュース

【八五・一〇】ニュース

【八五・二〇】ニュース

【八五・三〇】ニュース

【八五・四〇】ニュース

【八五・四五】ニュース

【八五・五〇】ニュース

【八五・五五】ニュース

【八六・〇〇】ニュース

【八六・一〇】ニュース

【八六・二〇】ニュース

【八六・三〇】ニュース

【八六・四〇】ニュース

【八六・四五】ニュース

【八六・五〇】ニュース

【八六・五五】ニュース

【八七・〇〇】ニュース

【八七・一〇】ニュース

【八七・二〇】ニュース

【八七・三〇】ニュース

【八七・四〇】ニュース

【八七・四五】ニュース

【八七・五〇】ニュース

【八七・五五】ニュース

【八八・〇〇】ニュース

【八八・一〇】ニュース

【八八・二〇】ニュース

【八八・三〇】ニュース

【八八・四〇】ニュース

【八八・四五】ニュース

【八八・五〇】ニュース

【八八・五五】ニュース

【八九・〇〇】ニュース

【八九・一〇】ニュース

【八九・二〇】ニュース

【八九・三〇】ニュース

【八九・四〇】ニュース

【八九・四五】ニュース

【八九・五〇】ニュース

【八九・五五】ニュース

【九〇・〇〇】ニュース

【九〇・一〇】ニュース

【九〇・二〇】ニュース

【九〇・三〇】ニュース

【九〇・四〇】ニュース

【九〇・四五】ニュース

【九〇・五〇】ニュース

【九〇・五五】ニュース

【九一・〇〇】ニュース

【九一・一〇】ニュース

【九一・二〇】ニュース

【九一・三〇】ニュース

【九一・四〇】ニュース

【九一・四五】ニュース

【九一・五〇】ニュース

【九一・五五】ニュース

【九二・〇〇】ニュース

【九二・一〇】ニュース

【九二・二〇】ニュース

【九二・三〇】ニュース

【九二・四〇】ニュース

【九二・四五】ニュース

【九二・五〇】ニュース

【九二・五五】ニュース

【九三・〇〇】ニュース

【九三・一〇】ニュース

【九三・二〇】ニュース

【九三・三〇】ニュース

【九三・四〇】ニュース

【九三・四五】ニュース

【九三・五〇】ニュース

【九三・五五】ニュース

【九四・〇〇】ニュース

【九四・一〇】ニュース

【九四・二〇】ニュース

【九四・三〇】ニュース

【九四・四〇】ニュース

【九四・四五】ニュース

【九四・五〇】ニュース

【九四・五五】ニュース

【九五・〇〇】ニュース

【九五・一〇】ニュース

【九五・二〇】ニュース

【九五・三〇】ニュース

【九五・四〇】ニュース

【九五・四五】ニュース

【九五・五〇】ニュース

【九五・五五】ニュース

【九六・〇〇】ニュース

【九六・一〇】ニュース

【九六・二〇】ニュース

【九六・三〇】ニュース

【九六・四〇】ニュース

【九六・四五】ニュース

【九六・五〇】ニュース

【九六・五五】ニュース

【九七・〇〇】ニュース

【九七・一〇】ニュース

【九七・二〇】ニュース

【九七・三〇】ニュース

【九七・四〇】ニュース

【九七・四五】ニュース

【九七・五〇】ニュース

【九七・五五】ニュース

【九八・〇〇】ニュース

【九八・一〇】ニュース

【九八・二〇】ニュース

【九八・三〇】ニュース

【九八・四〇】ニュース

【九八・四五】ニュース

【九八・五〇】ニュース

【九八・五五】ニュース

【九九・〇〇】ニュース

【九九・一〇】ニュース

【九九・二〇】ニュース

【九九・三〇】ニュース

【九九・四〇】ニュース

【九九・四五】ニュース

【九九・五〇】ニュース

【九九・五五】ニュース

【一〇〇・〇〇】ニュース

【一〇〇・一〇】ニュース

【一〇〇・二〇】ニュース

【一〇〇・三〇】ニュース

【一〇〇・四〇】ニュース

【一〇〇・四五】ニュース

【一〇〇・五〇】ニュース

【一〇〇・五五】ニュース

【一〇一・〇〇】ニュース

【一〇一・一〇】ニュース

【一〇一・二〇】ニュース

【一〇一・三〇】ニュース

【一〇一・四〇】ニュース

【一〇一・四五】ニュース

【一〇一・五〇】ニュース

【一〇一・五五】ニュース

【一〇二・〇〇】ニュース

【一〇二・一〇】ニュース

【一〇二・二〇】ニュース

【一〇二・三〇】ニュース

【一〇二・四〇】ニュース

【一〇二・四五】ニュース

【一〇二・五〇】ニュース

【一〇二・五五】ニュース

【一〇三・〇〇】ニュース

【一〇三・一〇】ニュース

【一〇三・二〇】ニュース

【一〇三・三〇】ニュース

【一〇三・四〇】ニュース

【一〇三・四五】ニュース

【一〇三・五〇】ニュース

【一〇三・五五】ニュース

【一〇四・〇〇】ニュース

【一〇四・一〇】ニュース

【一〇四・二〇】ニュース

【一〇四・三〇】ニュース

【一〇四・四〇】ニュース

【一〇四・四五】ニュース

【一〇四・五〇】ニュース

【一〇四・五五】ニュース

【一〇五・〇〇】ニュース

【一〇五・一〇】ニュース

【一〇五・二〇】ニュース

【一〇五・三〇】ニュース

【一〇五・四〇】ニュース

【一〇五・四五】ニュース

【一〇五・五〇】ニュース

【一〇五・五五】ニュース

【一〇六・〇〇】ニュース

【一〇六・一〇】ニュース

【一〇六・二〇】ニュース

【一〇六・三〇】ニュース

【一〇六・四〇】ニュース

【一〇六・四五】ニュース

【一〇六・五〇】ニュース

【一〇六・五五】ニュース

【一〇七・〇〇】ニュース

【一〇七・一〇】ニュース

【一〇七・二〇】ニュース

【一〇七・三〇】ニュース

【一〇七・四〇】ニュース

【一〇七・四五】ニュース

【一〇七・五〇】ニュース

【一〇七・五五】ニュース

【一〇八・〇〇】ニュース

【一〇八・一〇】ニュース

【一〇八・二〇】ニュース

【一〇八・三〇】ニュース

【一〇八・四〇】ニュース

【一〇八・四五】ニュース

【一〇八・五〇】ニュース

【一〇八・五五】ニュース

【一〇九・〇〇】ニュース

【一〇九・一〇】ニュース

【一〇九・二〇】ニュース

【一〇九・三〇】ニュース

【一〇九・四〇】ニュース

【一〇九・四五】ニュース

【一〇九・五〇】ニュース

【一〇九・五五】ニュース

【一一〇・〇〇】ニュース

【一一〇・一〇】ニュース

【一一〇・二〇】ニュース

【一一〇・三〇】ニュース

【一一〇・四〇】ニュース

【一一〇・四五】ニュース

【一一〇・五〇】ニュース

【一一〇・五五】ニュース

【一一一・〇〇】ニュース

【一一一・一〇】ニュース

【一一一・二〇】ニュース

【一一一・三〇】ニュース

【一一一・四〇】ニュース

【一一一・四五】ニュース

【一一一・五〇】ニュース

【一一一・五五】ニュース

【一一二・〇〇】ニュース

【一一二・一〇】ニュース

【一一二・二〇】ニュース

【一一二・三〇】ニュース

【一一二・四〇】ニュース

【一一二・四五】ニュース

【一一二・五〇】ニュース

【一一二・五五】ニュース

【一一三・〇〇】ニュース

【一一三・一〇】ニュース

【一一三・二〇】ニュース

【一一三・三〇】ニュース

【一一三・四〇】ニュース

【一一三・四五】ニュース

【一一三・五〇】ニュース

【一一三・五五】ニュース

【一一四・〇〇】ニュース

【一一四・一〇】ニュース

【一一四・二〇】ニュース

【一一四・三〇】ニュース

【一一四・四〇】ニュース

【一一四・四五】ニュース

【一一四・五〇】ニュース

【一一四・五五】ニュース

【一一五・〇〇】ニュース

【一一五・一〇】ニュース

【一一五・二〇】ニュース

【一一五・三〇】ニュース

【一一五・四〇】ニュース

【一一五・四五】ニュース

【一一五・五〇】ニュース

【一一五・五五】ニュース

【一一六・〇〇】ニュース

【一一六・一〇】ニュース

【一一六・二〇】ニュース

【一一六・三〇】ニュース

【一一六・四〇】ニュース

【一一六・四五】ニュース

【一一六・五〇】ニュース

【一一六・五五】ニュース

【一一七・〇〇】ニュース

【一一七・一〇】ニュース

【一一七・二〇】ニュース

【一一七・三〇】ニュース

【一一七・四〇】ニュース

【一一七・四五】ニュース

【一一七・五〇】ニュース

【一一七・五五】ニュース

【一一八・〇〇】ニュース

【一一八・一〇】ニュース

【一一八・二〇】ニュース

【一一八・三〇】ニュース

【一一八・四〇】ニュース

【一一八・四五】ニュース

【一一八・五〇】ニュース

【一一八・五五】ニュース

【一一九・〇〇】ニュース

【一一九・一〇】ニュース

【一一九・二〇】ニュース

【一一九・三〇】ニュース

【一一九・四〇】ニュース

【一一九・四五】ニュース

【一一九・五〇】ニュース

【一一九・五五】ニュース

【一二〇・〇〇】ニュース

【一二〇・一〇】ニュース

【一二〇・二〇】ニュース

【一二〇・三〇】ニュース

【一二〇・四〇】ニュース

【一二〇・四五】ニュース

【一二〇・五〇】ニュース

【一二〇・五五】ニュース

【一二一・〇〇】ニュース

【一二一・一〇】ニュース

【一二一・二〇】ニュース

【一二一・三〇】ニュース

【一二一・四〇】ニュース

【一二一・四五】ニュース

【一二一・五〇】ニュース

【一二一・五五】ニュース

【一二二・〇〇】ニュース

【一二二・一〇】ニュース

【一二二・二〇】ニュース

【一二二・三〇】ニュース

【一二二・四〇】ニュース

【一二二・四五】ニュース

【一二二・五〇】ニュース

【一二二・五五】ニュース

【一二三・〇〇】ニュース

【一二三・一〇】ニュース

【一二三・二〇】ニュース

【一二三・三〇】ニュース

【一二三・四〇】ニュース

【一二三・四五】ニュース

【一二三・五〇】ニュース

【一二三・五五】ニュース

【一二四・〇〇】ニュース

【一二四・一〇】ニュース

【一二四・二〇】ニュース

【一二四・三〇】ニュース

【一二四・四〇】ニュース

【一二四・四五】ニュース

【一二四・五〇】ニュース

【一二四・五五】ニュース

【一二五・〇〇】ニュース

【一二五・一〇】ニュース

【一二五・二〇】ニュース

【一二五・三〇】ニュース

【一二五・四〇】ニュース

【一二五・四五】ニュース

【一二五・五〇】ニュース

【一二五・五五】ニュース

【一二六・〇〇】ニュース

【一二六・一〇】ニュース

【一二六・二〇】ニュース

【一二六・三〇】ニュース

【一二六・四〇】ニュース

【一二六・四五】ニュース

【一二六・五〇】ニュース

【一二六・五五】ニュース

【一二七・〇〇】ニュース

【一二七・一〇】ニュース

【一二七・二〇】ニュース

【一二七・三〇】ニュース

【一二七・四〇】ニュース

【一二七・四五】ニュース

【一二七・五〇】ニュース

【一二七・五五】ニュース

【一二八・〇〇】ニュース

【一二八・一〇】ニュース

【一二八・二〇】ニュース

【一二八・三〇】ニュース

【一二八・四〇】ニュース

【一二八・四五】ニュース

【一二八・五〇】ニュース

【一二八・五五】ニュース

【一二九・〇〇】ニュース

【一二九・一〇】ニュース

【一二九・二〇】ニュース

【一二九・三〇】ニュース

【一二九・四〇】ニュース

【一二九・四五】ニュース

【一二九・五〇】ニュース

【一二九・五五】ニュース

【一三〇・〇〇】ニュース

【一三〇・一〇】ニュース

【一三〇・二〇】ニュース

【一三〇・三〇】ニュース

【一三〇・四〇】ニュース

【一三〇・四五】ニュース

【一三〇・五〇】ニュース

【一三〇・五五】ニュース

【一三一・〇〇】ニュース

【一三一・一〇】ニュース

【一三一・二〇】ニュース

【一三一・三〇】ニュース

【一三一・四〇】ニュース

【一三一・四五】ニュース

【一三一・五〇】ニュース

【一三一・五五】ニュース

【一三二・〇〇】ニュース

【一三二・一〇】ニュース

【一三二・二〇】ニュース

【一三二・三〇】ニュース

【一三二・四〇】ニュース

【一三二・四五】ニュース

【一三二・五〇】ニュース

【一三二・五五】ニュース

【一三三・〇〇】ニュース

【一三三・一〇】ニュース

【一三三・二〇】ニュース

【一三三・三〇】ニュース

【一三三・四〇】ニュース

【一三三・四五】ニュース

【一三三・五〇】ニュース

【一三三・五五】ニュース

【一三四・〇〇】ニュース

【一三四・一〇】ニュース

【一三四・二〇】ニュース

【一三四・三〇】ニュース

【一三四・四〇】ニュース

【一三四・四五】ニュース

【一三四・五〇】ニュース

【一三四・五五】ニュース

【一三五・〇〇】ニュース

【一三五・一〇】ニュース

【一三五・二〇】ニュース

【一三五・三〇】ニュース

【一三五・四〇】ニュース

【一三五・四五】ニュース

【一三五・五〇】ニュース

【一三五・五五】ニュース

【一三六・〇〇】ニュース

【一三六・一〇】ニュース

【一三六・二〇】ニュース

【

第二の嘉南大圳を 集集山麓に築造

愈よ山地方面大開發

【集集電話】信用州新高郡集集地方の入口で新高郡山口街に續く濁水溪の水を集集山麓に導水して約二萬甲歩の水田を灌漑する集集大圳の開發工事は愈よ本格的に着手されることになり、既に本年度から三箇年繼續事業として總工費五百萬圓を投じ、第一年度は百萬圓を以て工事を施行することになり、目下總督府技師の指導の下に集集街役場に於て測量を實施中であるが、來る十二月中旬から本格的に工事に着手する豫定である、尚ほ集集大圳の開發は從來の水田開發と異り、山地の開發であるから、從來の水田開發の如く單に水路を開鑿するのみでは不充分であり、水源地の山地に於ても水源涵養の爲め植林を行ふ必要があるので、集集大圳の開發と同時に水源地の植林も實施することになつてゐる、集集大圳の開發は從來の水田開發と異り、山地の開發であるから、從來の水田開發の如く單に水路を開鑿するのみでは不充分であり、水源地の山地に於ても水源涵養の爲め植林を行ふ必要があるので、集集大圳の開發と同時に水源地の植林も實施することになつてゐる、

火の用心大宣傳

"火事親爺"を徹底

【臺中電話】臺中州では十一月一日から十日迄を防火デー——愛護週間に定めて、州下各地に於ては防火組織の非常召集を行ひそれと共に愛護組合に對し正式參拜、國防及び防火の祈願を爲し、次で國內で各種競技を擧行、八時二十分より中央ネオン塔に於て放水演習を實施、終了後消防組員、壯丁團員、防火團員を以て全市に亙り火災豫防の宣傳をなし、午前九時より市役所前廣場に於て防火演習、消防隊員による防火の祈願を行ひ、次で各種競技を擧行、午後は市內有志寄合の自轉車を組織して市內を行進しビラを撒布する豫定なり、

臺南防空訓練

【臺南電話】警戒管區下に臺南市は夜を迎へた七時十分第一回空襲警報發令され、新氣組織以來初めての防空訓練が開催された、

同郡下

は總督府の約三分の二が地元負擔

【臺南電話】臺南州下に於ては昭和七年以來、水利組合の經營する灌漑區域內の耕地に對し、從來の地元負擔額の約三分の二が地元負擔であるのと、從來は地元負擔額が多數の爲め、地元負擔額の減額を陳情し、或は地元負擔額の減額を要求する等の事が屢々あつたが、今回總督府に於ては、從來の地元負擔額を一擧に

厦門の舊蹟めぐり (三)

厦門支局　石川汎

五、鼓浪洞天一日光巖

日光巖は又鼓巖と称し、鼓浪嶼の中央に突兀として聳える巨巖がそれである。昔日鄭成功が水操已として演習を指揮した所と傳えられる。俗に郭仔山と云ひ、門の前側山に對する鼓浪山の二字を石に彫する山巖に登着を登る小徑があり、徑の中ほどの右手の巖上に「日光巖」の三字が大書されてゐる。

太平巖の鄭成功讀書處

日光巖の「日月俱輝」

巨大な日光巖

ひつある。

寺院の額に大字數、あつて時限の第一の文字、あり林林の隠れる所である。その上に元時日人が刻んだ所の「鼓浪嶼」の字、ある。

臺日歌壇

選郎二成安

ボーズを作るのに一苦勞

▲このごろになつて永年蔽れた和服がきらびになり、俄かに洋服を着て歩きたくなつた和田傳君ある日知合の洋服屋を呼んで「なんのお當、萬圓位なら私も一足欲しいのよ、あなた」

▲丁度遊びに來てゐた弟山醫二君に話すと、丸山君曰く「醫者は結局損だよ、そのまま着た方がいいぢやないか」と皮肉ると、和田君「着物正直にうけとつて「さうだ俺はいままでボーズをつくる事を忘れてた、農民らしいボーズが必要なんだネ」丸山君はそれきいて「さう殺りだよ、まあ洋服のきらいな君でも少恰好つくるんだネ、さうしないと、田舎の講演會なんかで不思議がられるゾ」和田君々來客になつて和服のかはりに「駄がいいかネ、それともゴム長がいいかネ」丸山君もこれには困り「武園の方がいいだらう」

▲はたで聞いてゐた和田の細君「なんのお當、萬圓なら私も一足欲しいのよ、あなた」

新國寶となる二條城

文部省嘱託　國寶鑑査員　上田三平

歴史に名高き京都市中京區堀川二條の西に城として築き立てる二條離宮即ち「二條城」は先月中旬全周凡そ八万二千呎と共に晃くも京都市に遺る最も日文部省の國寶鑑査會に於て新たに歴史上美術上重要なる價値あるものとして、今回一般國寶に指定せる事に決し文相に答申した

一、二條離宮は明治十七年七月もとの二條城を以つて充てられたものである。同城は慶長八年德川家康の築造に係り、同年二月家康始めて入城し、翌慶長九年德川秀忠之に倣ひ此處に將軍宣下の式を擧げ、爾後大政を奉還するに至る迄此處に將軍を常とした。元和元年豊臣氏滅亡後、殿閣は同年より翌年に亘る大修築を施し、寛永元年の間に益々殿閣を修飾し、城内の諸殿を移築して城構の完備を計り、寛永二年九月後水尾天皇の行幸を仰き、儀容嚴重を極めた。同五年仙洞御所の造營に際し、二ノ丸の行幸殿を始め多くの殿舍を移した。越えて寛永十一年將軍家光上洛に此の城を以つたが其後將軍の上洛を見ず、更に城内の諸殿中女院御所其他に移轉したものがある

×

寛政二年八月、天守閣焼失、次で天明八年正月本丸の櫓及び多門等悉く焼失し、本丸殿内は假殿同樣となつた。かくして文久二年二月將軍家茂上洛して此城に入る、元治元年閏將軍家光上洛以來二百餘年ぶりの行幸たるの榮あり、慶應三年德川慶喜大政奉還の表明も此處に於てなされたものである。

×

明治二年十月京都より東京へ遷都に際し、本丸、二ノ丸、西の丸、及び三ノ丸の一部を殘して悉く取毀ち、其の跡地は悉く開墾して桑園となつた。明治六年二月城は陸軍省の管轄となつたが、歴史は依然此處にあつた。明治天皇には、明治五年大阪及び西國行幸の際六月三日及び明治十年大和及び京都行幸の際一月二十一日の二度此處に臨幸あらせられた

×

明治十七年七月二十八日城は宮内省所管となり「二條離宮」と改称せられ、京都府廳は翌年六月他に移轉した。明治二十六、七年本丸ノ内に御殿、宮殿及び移築した丸ノ内二ノ丸に御殿を移建し、明治二十八年十月二十三日行幸あらせられた

二條城の城郭は平城に屬し、本丸と二ノ丸の二郭より成り、周圍には堀と土居九千九百間を繞らした東西約一百六十二間、南北約二百間あり、もと四隅に櫓があつたが今は二條の東南櫓、及西南櫓を殘すのみ、又東西に東大手門、北面に北大手門があり、西面に西門を存す、本丸には城内の西部に位し、周圍に幅十間一十五間の堀を繞らし、天守閣は西南隅にあり、西面中央に二ノ丸に通じてゐる、多門並の内側に接する石殿は、殿舍構造の特殊なる點より移築の建物である、二ノ丸殿内には、もと櫻の主要部をなせる、城の表御門があり、正面中央に唐門、玄關、車寄、式臺、大廣間、小廣間、蘇鐵之間、黒書院、白書院、雁之間、老中部屋、遠侍、番所、能舞臺、三ノ丸殿内には、もと櫻の主要部をなせる、城の表御門があり、正面中央に唐門、玄關、車寄、式臺、大廣間、小廣間、蘇鐵之間、黒書院、白書院、雁之間、老中部屋、遠侍、番所、能舞臺、三ノ丸殿内には、もと櫻の主要部をなせる、城の表御門があり、正面中央に唐門、玄關、車寄、式臺、大廣間、小廣間、蘇鐵之間、黒書院、白書院、雁之間、老中部屋、遠侍、番所、能舞臺、

照りも降る秋の日くれ方空に大屯七星の山の峰かなり近く映る夕顔の藍色は目にしみて秋づく白雲のたむろ掛ける秋空を窗に眺めあかすある…

寂寥の色濃き秋の夜半の月夜なり

コスモスを一つ活けさせて今宵ばかり淋しからぬ心に心淋しもの色たべニホニホけき秋の夜はりて一ほろ〳〵泣きつづけつゝ

感冒

頭痛　齒痛　痛經神

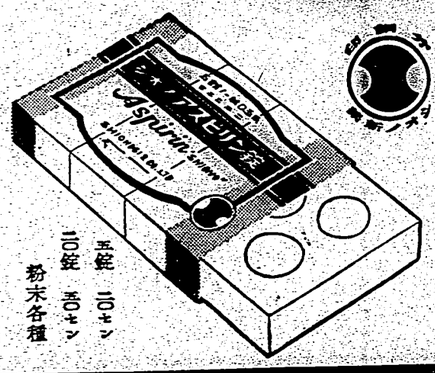
下熱―鎮痛に

ソリピスアクオン

シオノアスピリンは分解し難き獨特の板狀結晶にして不純分を含まず、空氣中、胃液中にて何等の變化を受ける事なきが故に感冒時の衰退せる消化機能を害せず、從つて胃壓、嘔吐感、胃障害等の副作用なく優秀なる下熱と鎮痛効果を期待し得らる。

精密なる化學機構のもとに製造されたる信賴あるシオノ製品の撰定によつて國産愛用の意義は全し。

御買ひ求めの際は必ずシオノアスピリンと御指定を乞ふ！



五錠　二〇銭
一〇錠　三〇銭
粉末各種

製造發賣元　鹽野義商店
大阪市東區道修町三丁目

B4—19

聖戰へ　民一億の体當り

時局の標語をお送り下さい

非常時に對處して國民が愛誦すべき時局標語・國策標語・健康標語を募ります（佳作には薄謝贈呈す）

用紙＝官製ハガキに限る

送り先＝大阪市東區道修町　鹽澤友吉商店標語係

ゼトルフ

強精壯血

ンモルホトウア血造　藥備常院病大帝各

薩澤製品

B1439

！へ湯掃の質体弱虚づま

体位の低下を憂へらるゝ今日の最大關心事は一般青少年の虚弱体質即ち慢性消耗性諸疾患（貧血・腺病質・結核諸症等）への對策であるがプルトーゼは特異の造血アウトホルモン作用により造血機能亢進　細胞原形質賦活の二大使命を發揮して貧血性諸障碍を克服し新陳代謝を旺盛ならしめ榮養を充實すると共に　本劑獨自の各種配合劑はそれぞれの消耗性疾患治療の適劑たりただに虚弱体質の改善強化に重用せらるゝのみならず進んで國民的強壯劑として推奨を受けつゝあり

（戰時局標語）

いさ下り送お瓶空ゼートルフ

（設備實費工出幹）錠參　ホー瓶大・錠貳　ホー瓶小

場工學化店商吉友澤藤　會株社　町島加區川淀西市阪大先付送

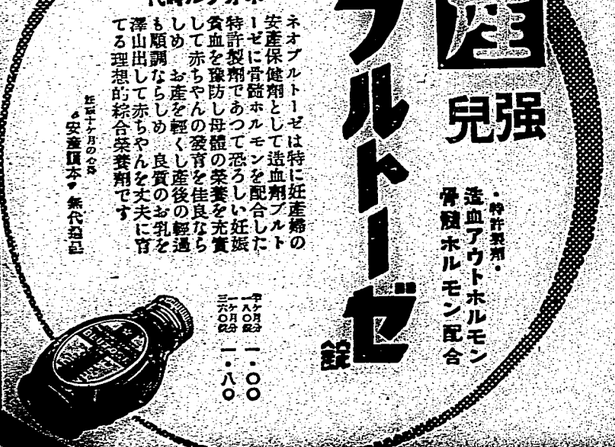
すまでに用供所でし實試に次出し為を認證熱重事上の選決分十は數空ホ入實

町門小西府城京　町茂加區和大市天準　店商吉友澤藤社會式株　町條道區東市阪大　町本區橋本日市京東

プルトーゼ

・特許製劑・
造血アウトホルモン
骨髓ホルモン配合

安産強兒



よせや殖よめ産
代時ルブオネ

ネオプルトーゼは特に妊産婦の安産保健劑として造血劑プルトーゼに骨髓ホルモンを配合した特許製劑であつて恐ろしい妊娠貧血を豫防し母體の榮養を充實して赤ちやんの發育を佳良ならしめ　お産を輕くし産後の輕過も順調ならしめ　良質のお乳を澤山出して赤ちやんを丈夫に育てる理想的綜合榮養劑です

（昭和十四年十月の分）
一ケ月分　一・〇〇
三ケ月分　二・八〇

感冒

頭痛　齒痛　痛經神

下熱―鎮痛に

ソリピスアクオン

シオノアスピリンは分解し難き獨特の板狀結晶にして不純分を含まず、空氣中、胃液中にて何等の變化を受ける事なきが故に感冒時の衰退せる消化機能を害せず、從つて胃壓、嘔吐感、胃障害等の副作用なく優秀なる下熱と鎮痛効果を期待し得らる。

精密なる化學機構のもとに製造されたる信賴あるシオノ製品の撰定によつて國産愛用の意義は全し。

御買ひ求めの際は必ずシオノアスピリンと御指定を乞ふ！

五錠　二〇銭
一〇錠　三〇銭
粉末各種

製造發賣元　鹽野義商店
大阪市東區道修町三丁目

紀元節祭關係を特に重からしむ

二千六百年祝典の要綱

【東京二日發同盟】紀元二千六百年の祝典に關する政府は夫々政策を進め一日の閣議に於いて左の如き祝典實施要綱を決定された

一、**奉祝** イ、宮中において紀元節祭關係の御祭典を特に重からしめるやう斯り行はれること

ロ、神宮並に宮、國幣社以下神社における紀元節祭は特に大祭たるやうに斯り行はれること

ハ、十一月十日式典當日、國幣社以下神社において一齊に臨時祭典を斯り行ふこと

二、**式典** 今上陛下御即位の佳辰にあたり十一月十日を下し天皇、皇后兩陛下の行幸、行啓を仰ぎ政府主催をもつて官成外苑において式典を擧行すること

三、**大觀兵式大觀艦式** 適當の時機において行はれる見込み

四、**奉祝會** 式典終了後東京市において

奉祝典は嚴肅に

（阿部總理大臣の談）

戰線への慰問袋 ぞくぞく贈れ

小包料金も大幅引下げ

たがそろ〳〵年末ボーナスの時期も近づいたことゝて商務省當局でも安價な慰問袋の發送方を斡旋することゝなつた

臺灣からも出品

長以下全部局の關係官參集してその實施方法を協議した結果各局も續々一万個位を計上し參加することに決定した、同時の會場は二階、音樂室、白木屋、松坂屋、伊勢丹の帝都六大デパートが充てられ各地の出品は「吾等の新天地」の會場たる伊勢丹と決定した

歲末大賣出しも自肅自戒で

射倖心を刺戟するな

各地方官廳に於ては夫々管下商人の自粛自戒を促す方策樹立の爲め目下商工經濟關係

囲碁将棋

本年度男子戦決十傑

（3）

来春二月五日皇中で挙げ

北陸代表選

最派遣

朝鮮木出場

常盤園

日本一

本年度の囲碁界

多事多端だった

米選手も招聘か

世界的選手達

全員囲碁十段

打ち方

攻防兼備の尖り頂

近づく来休み

最強者は誰か

囲碁将棋

知的

頭脳ゲーム

城部安雲筒

矢島倉山著

一竜寿山著

囲碁将棋

知的

頭脳ゲーム

城部安雲筒

矢島倉山著

一竜寿山著